

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	62199 飛騨にゆうかわイベント開催事業	担当課	丹生川支所 基盤産業課	内線 3131
予算	会計	1 一般会計	特別 位置 付け の 予算	○ A 合併前から実施されているイベント・行事
	款	6 商工費		B 一般予算の上乗せとして実施されている事業
	項	2 観光費		C 終期を定めて実施する事業・単年度事業
	目	1 観光振興費		D その他事業
市長の約束	積極的な観光振興策を実施します ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。 ・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指します。			

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	観光入込客及び市民	受益者数	16,280 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	・貴重な自然観光資源と豊富な農産物を活かし四季を通じたイベントを開催し、交流人口の増大と地域産業の活性化を図る。		
概要	事業の実施手法(手段)	・乗鞍岳山開き祭 ・飛騨にゆうかわコスモまつり ・飛騨にゆうかわ宿儀まつり ・NORIKURAウインターカーニバル 各事業実施団体への負担金		
前回の評価からの改善・改革のポイント	・イベントの将来方針に基づいた整理統合			

## 2 事業の推移・結果 (Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値		
活動指標	① 開催イベント数	回	目標値	5	4	4	4
			実績値	5	4	4	-
			算出根拠等	達成率(%)	100	100	100
成果面	②		目標値				
			実績値				-
			算出根拠等	達成率(%)			
成果指標	① 丹生川地域への入込客数	千人	目標値	600	600	600	600
			実績値	544	558	600	-
			算出根拠等	達成率(%)	91	93	100
成果指標	② イベント入込者数	人	目標値	20,000	20,000	20,000	20,000
			実績値	22,260	16,280	20,000	-
			算出根拠等	達成率(%)	111	81	100
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出 (千円) (A)			14,860	10,686	11,800	9,800
	受益者負担(使用料・負担金等)			0	0	0	0
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)			0	0	0	0
	一般財源			14,860	10,686	11,800	9,800
コスト指標	指標名			H21	H22	H23見込	H24計画
	①	受益者1件当たり (円) (A/B)		603	480	590	490
		受益者 各前年イベント入込数 (B)		24,630	22,260	20,000	20,000
	②						
算出根拠等							

## 3 分析・評価 (Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく	A	・総合計画への明確な位置づけがされている。 ・地域の希少な特色を生かしたイベントの開催により情報発信を行い、観光客誘致による地域産業の活性化に効果をもたらしている。
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している	A	・観光関係市民などの直接的なニーズと、他産業関係市民の間接的なニーズがある。 ・地域市民が地域の産業とふれあいを実感し、地域づくり意識高揚の追い風となるイベント開催のニーズがある。
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ	B	・市全体に事業効果の及ぶイベントと、地域内の振興に効果をもたらすイベントに二分される状況。
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)	B	・地域への入込み者数は社会情勢の影響もあり、90%前後となっている。 ・イベントの入込数は、イベントの整理統合や開催方法の変更などで増減しているものの、80%を上回っている。
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である	B	・事業手段や活動方法は、ある程度成果に結びついており概ね有効であるが、各イベントの将来方針に向けた見直しが必要。
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている	B	・各イベントの将来方向の見直しとともに、経費節減のための改善工夫に取り組んでいる。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト縮減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている	B	・イベント実施団体の自主財源の確保と、経費節減のための改善工夫に取り組んでいる。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である	B	・更なるコスト縮減に向けて取り組んでいるものの、概ね適正である。
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である	B	・イベント来場者のみならず、波及経済効果が確認され、概ね適正である。
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計	12.0 / 20.0	100点換算	60 / 100

## 4 今後の方向性 (Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	維持・改善	拡大	○	縮小	廃止の検討	完了
	各イベントの将来方針に向けて、自主運営化または一般予算化を進める。					

総合評価(二次評価)	維持・改善	拡大	○	縮小	廃止の検討	完了
	・地域主体の事業とすべく、負担金の段階的な引き下げを行う必要がある。 ・特例期間終了を見据え、地域への波及効果などの分析を行いつつ、行政の関与を段階的に縮小していく必要がある。					

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成 (Action2) ※予算要求時記入

事業費 (人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 調整額	市長 査定額
歳出 (千円)	11,800	9,800	△ 2,000	9,800	9,800
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	11,800	9,800	△ 2,000	9,800	9,800

予算要求の概要	イベント開催負担金
要求額増減理由	地域振興特別予算の終期を見据えた減
①支所	
イベントの整理統合により予算規模の縮小に努めており、今後は一般予算化や民間移行への方向性を検討する必要がある。	
②本庁所管課 (観光課)	
地域振興特別予算が平成26年度までの限定的制度であることから、今後、段階的に自己負担割合を増やしていき、地域で自主的に運営できるよう見直しが必要がある。	
地域政策課	
合併前から実施している行事・イベントについては、今後の方向性について各事業の内容や地元負担割合等の精査を行うとともに、継続について、地域と十分協議する必要がある。 来場者とその属性、交通・景観・環境・衛生面など様々な視点から事業の効果、改善点を検証する必要がある。	

財務部査定 の考え方	要求どおり
市長査定 の考え方	財務部調整どおり

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	95199	地域スポーツ振興事業 (スキー大会開催事業)	担当課	丹生川支所 地域振興課	内線	3121
予算	会計	1 一般会計	特別 位置 付け の 予算	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	9 教育費		O	B 一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	5 保健体育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	1 体育総務費		D	その他事業	
市長の約束	1	積極的な観光振興策を実施します ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。 ・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指します。				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民・一般観光客	受益者数	950 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	スキー場を利用して、東海社会人スキー大会・乗鞍大回転競技大会・マスターズスキー大会を行い、飛騨地域へスキー競技者の誘客を図る。		
概要	事業の実施手法(手段)	東海社会人スキー大会 400名、乗鞍大回転競技大会 250名、マスターズスキー大会 300名		
概要	前回の評価からの改善・改革のポイント			

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	①	大会の開催回数	単位	回	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		算出根拠等	各大会1回	達成率(%)	100	100	100	-	
成果面	②	大会参加者数	単位	人	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		算出根拠等	達成率(%)	94	83	100	-		
コスト面	①	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)	H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額			
		歳出(千円)(A)	450	450	450	450			
コスト面	②	受益者負担(使用料・負担金等)							
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)							
コスト面	①	一般財源	450	450	450	450			
		指標名	H21	H22	H23見込	H24計画			
コスト面	①	受益者1件当たり(円)(A/B)	502	571	474	474			
		受益者 3大会の参加者数 (B)	896	788	950	950			
コスト面	②	算出根拠等							
		算出根拠等							

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく	A	総合計画への明確な位置づけはないものの、市長公約の観光資源の積極的な活用に結びつく
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している	A	観光関係市民の直接的なニーズと大会参加者のニーズがある。
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ	B	大会参加者はオープンにしているため、市民全体が対象である。
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)	B	大会開催は予定通り3大会開催している。大会参加者についてはおおむね計画通りである。
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である	A	3大会ともに定着した競技大会であり、有効である。
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている	B	スキー人口が減少している中で競技参加者の拡大に取り組んでいる。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト縮減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている	B	大会経費の自主財源の確保と経費節減のため改善・工夫に取り組んでいる。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である	A	大会参加者数としてのコストも考えられるが、宿泊施設等への経済効果もあり適正であると判断される。
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である	A	大会参加者数としてのコストも考えられるが、宿泊施設等への経済効果もあり適正であると判断される。
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計	16.0 / 20.0	100点換算	80 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

○	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
次年度の 実施方針 (担当課評価)	大会の開催は参加者のスキー技術向上のみではなく、地域の商業の活性化につながっている。よって、行政からの支援は今後も継続していく必要がある。				

○	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
総合評価 (二次評価)	・スポーツ大会開催誘致のあり方について検討する必要がある。 ・特例期間終了を見据え、地域への波及効果などの分析を行いつつ、行政の関与を段階的に縮小していく必要がある。				

議会からの 提言等	
--------------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 調整額	市長 査定額
歳出(千円)	450	450	0	450	450
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	450	450	0	450	450

予算要求の概要	スキー大会開催負担金
要求額増減理由	
①支所	
スキー人口が減少している中でスキー愛好家・競技参加者の拡大に取り組み、大会経費の自主財源の確保と経費節減に取り組む必要がある。	
②本庁所管課(スポーツ振興課)	
地域スポーツ振興事業は、地域の特性に応じた各種大会の開催や地域におけるスポーツ活動の推進等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されている。現在、一般予算の中で地域におけるスポーツ教室の開催方法やスポーツイベントのあり方等について検討しているところであり、当面、当該事業を継続する中で、事業のあり方や一般予算との関係等を整理する必要がある。	
地域政策課	
同上	

財務部査定 の考え方	要求どおり
市長査定 の考え方	財務部調整どおり

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	31199	地域社会福祉推進事業費 (結婚相談特別推進事業)	担当課	丹生川支所 地域振興課	内線	3121
予算	会計	1 一般会計	特別予算の 位置付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	3 民生費		O	B 一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	1 社会福祉費		C	D 終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	1 社会福祉総務費		D	その他事業	
市長の約束	4	個人・家庭・地域を大切に作る社会を築きます。				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	結婚希望者	受益者数	
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	結婚相談事業は、旧丹生川村の総合計画においても重要課題として、ハッピーウエディング大作戦を展開してきた。引き続きこの事業を推進することにより、次世代を担う若者の結婚の機会を拡充し、活力ある地域づくりを目的とする。地域審議会においても強い要望がある。		
概要	事業の実施手法(手段)	結婚相談協力員5名を配置。結婚相談所開設日に情報交換を行うとともに、日々の相談(面談、電話、訪問)活動。相談を受けた場合、相談者に対する今後の支援等について、相談員と協力員で検討を行う。		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値		
① 結婚相談日の開設	算出根拠等	毎月第3水曜日/月×12月	達成率(%)	100	100	100	-
			目標値				
			実績値				
②	算出根拠等		達成率(%)				-
			目標値				
			実績値				
① 結構相談等延べ件数	算出根拠等	件	達成率(%)	118	96	100	-
			目標値	100	100	100	100
			実績値	118	96	100	-
② 結婚成立件数	算出根拠等	件	達成率(%)	100	150	100	-
			目標値	2	2	2	2
			実績値	2	3	2	-

  

コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)	H21	H22	H23	H24
		決算額	決算額	予算額	実施計画額
財源内訳	歳出(千円)(A)	210	210	210	210
	受益者負担(使用料・負担金等)				
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)				
	一般財源	210	210	210	210
コスト指標	指標名	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 受益者1件当たり(円)(A/B)	1,780	2,188	2,100	2,100
	受益者 相談件数 (B)	118	96	100	100
	② 結婚相談員1ヶ月あたり	3,500	3,500	3,500	3,500
	算出根拠等	結婚相談協力員経費/開催回数			

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく	A	総合計画への明確な位置づけはないものの、市長公約の住みやすい街を創りますに結びつく。
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している	A	結婚希望者にニーズがある。
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ	A	本庁、支所地域の各結婚相談所と連携している。
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)	A	対面(相談所・訪問)、電話、会議など延べ100件ほどの活動があり十分に達成している。
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である	A	随時対応していただいております。
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている	A	結婚相談協力員の後継者の確保が必要となる。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト縮減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている	A	相談員確保のため最小限と思われる経費である。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である	B	安心して相談できる機関として、概ね適正な経費と考える。
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である	A	未婚者が増える中、相談及び結婚成立の実績があり適正と考える。
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計	19.0 / 20.0	100点換算	95 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
次年度の 実施方針 (担当課評価)	現行通り実施。尚、相談件数が増えるよう相談員制度の周知徹底を今以上に図る。			

総合評価 (二次評価)	維持・改善	拡大	○ 縮小	廃止の検討	完了
・相談業務のあり方については、福祉課との整合性を図るよう調整を行っていく必要がある。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。					

議会からの 提言等					
--------------	--	--	--	--	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費 (人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 調整額	市長 査定額
歳出(千円)	210	210	0	210	210
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	210	210	0	210	210

予算要求の概要	結婚相談協力員報償費
要求額増減理由	
①支所	
相談件数が増えるよう相談員制度の周知徹底を図ると共に協力員の後継者を育成する。	
②本庁所管課(福祉課)	
結婚相談員と協力員が独自に収集した情報を共有して、お見合い等を実施し結婚に結び付けている。婚姻実績は結婚相談所より上回っており一定の成果はあると考える。	
地域政策課	
地域振興特別予算措置期間終了後を見据えた方針の策定が必要である。	

財務部査定 の考え方	要求どおり
市長査定 の考え方	財務部調整どおり

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	31399 地域老人福祉推進事業費 (老人クラブ活動費助成事業)	丹生川支所 地域振興課	内線 3121
予算	会計	1 一般会計	特別 位置 付け の 予算
	款	3 民生費	
	項	1 社会福祉費	
	目	3 老人福祉費	
市長の約束	5	医療・福祉を充実させます 地域住民が互いに支えあう仕組みや、緊急時の支援を万全にするため、独居老人、要援護者等への地域福祉体制を整備します。	

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	60歳以上の市民で構成される単位老人クラブ及び連合組織	受益者数	9,796 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	明るい長寿社会と豊かな老後を目指す。		
概要	事業の実施手法(手段)	高齢者の生きがいと健康づくり、また高齢社会を支える上で大きな役割を担っている老人クラブに対し、福祉の向上のために助成し、老人クラブを通じて各種活動の育成、支援を行う。		
前回の評価からの改善・改革のポイント	老人クラブに加入しやすい体制の構築に向け、組織や活動の見直しを促しており、役員会等で検討中である。			

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画	
	① 会員数	算出根拠等		人	目標値	11,474	10,500	11,100	11,600
実績値		11,474	10,405		9,796	-			
算出根拠等		人	達成率(%)	100	99	88	-		
実績値/目標値			100	100	95	-			
成果面	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画	
	② 単位老人クラブ数	算出根拠等		人	目標値	159	150	150	143
		実績値			159	150	143	-	
	算出根拠等		%	達成率(%)	100	100	95	-	
実績値/目標値		100		100	95	-			
成果指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画	
	① 加入率	算出根拠等		%	目標値	46.8	42.0	43.0	44.0
		実績値			46.7	41.7	39.3	-	
	算出根拠等		%	達成率(%)	100	99	91	-	
実績値/目標値		100		99	91	-			
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額		
	歳出(千円)		(A)	420	420	420	420		
	受益者負担(使用料・負担金等)								
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)			171	163	280	280		
コスト指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画	
	① 受益者	算出根拠等		(A/B)	目標値	491	497	501	501
		実績値			491	497	501	501	
	算出根拠等		(A/B)	達成率(%)	100	99	91	-	
実績値/目標値		100		99	91	-			

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく	A	総合計画・市長公約に位置付けられ、高齢者を中心に地域住民が互いに支えあう仕組みとして、老人クラブの活動は、地域福祉体制づくりの一つであり、有意義な政策である。
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している	A	高齢者の方が健康でいきいきとした生活を送るために老人クラブ活動は重要な施策であり、老人クラブからの補助金の増額について、強い要望もある。
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ	B	健康で活躍する高齢者が増加することにより、地域の活性化につながる。
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)	B	近年の老人クラブ加入者の減少は、高齢者の趣味や考えの多様化したことによるものである。
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である	B	高齢者が主体となって健康づくりや地域交流などの自主的な運営を支援している。
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている	B	役員会等により、組織や活動の見直しに取り組んでいる。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト縮減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている	A	補助金の額は、会員数及び単位老人クラブ数により、算出するため。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である	A	補助金の額は、会員数及び単位老人クラブ数により、算出するため。
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である	A	補助金の額は、会員数及び単位老人クラブ数により、算出するため。
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計		16.0 / 20.0	100点換算 → 80 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	<ul style="list-style-type: none"> <li>本補助金を有効に活用するため、老人クラブにおける活動内容の見直しを進めながら、事業継続し、活動の育成と支援を行う。</li> <li>地域振興特別予算(31399事業)の老人クラブ活動費補助金の一本化を図る。</li> </ul>				

総合評価(二次評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成22年度事業評価において、老人クラブ(連合長寿会)の加入率は低下していることから、長寿会に加入しやすい体制の構築を促すなどの取組みが必要であるとの指摘をしているところであるが、連合長寿会に加盟しない地区もあり、事業効果が高齢者全体に及んでいないようになってきていることから、地域としての必要性も含め、今後のあり方についても検討する必要がある。</li> </ul>				

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	420	420	0	420	420
国庫支出金					
県支出金	280	280	0	280	280
起債					
その他					
地域振興特別予算	140	140	0	140	140

予算要求の概要	長寿会事務局設置に係る助成経費
要求額増減理由	
①支所	地域を基盤とした老後の社会活動の円滑な展開とまちづくりへの高齢者の参画を支援し、老人クラブの活動をより一層充実した取組みにするため、一般予算(31336事業 老人クラブ活動費補助金)へ移行する必要がある。
②本庁所管課(高年介護課)	地域を基盤とした老後の社会活動の円滑な展開とまちづくりへの高齢者の参画を支援し、老人クラブの活動をより一層充実した取組みにするため、一般予算(31336事業 老人クラブ活動費補助金)へ移行する必要がある。
地域政策課	
支所地域の老人クラブへの補助は人件費を補助対象としているため、早急に高山地域と同条件となるよう調整し、一般予算化の検討が必要である。	

財務部査定 の考え方	要求どおり
市長査定 の考え方	財務部調整どおり

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	72199	地域道路橋りょう管理振興事業費 (市道未登記用地測量事業)	担当課	丹生川支所 基盤産業課	内線	3141
予算	会計	1 一般会計	特別 位置 付け の 予算	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	7 土木費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	2 道路橋りょう費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	1 道路橋りょう総務費		○	D その他事業	
市長の約束	4	個人・家庭・地域を大切に作る社会を築きます ・日常生活における買い物、通勤、通学、通院などの移動手段を確保するため、市民の生活を守る公共交通網を整備します。				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市道未登記地権者	受益者数	127 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	未登記路線の整理(旧町村時代に未登記のまま道路整備した路線の登記整備)		
概要	事業の実施手法(手段)	市道未登記箇所の確定測量を行い登記関係書類を作成し、所有者からの寄付により道路用地として高山市へ所有権移転登記を行う		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	①	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		用地分筆数	件	目標値	50	30	50	50
算出根拠等		実績値	43	16	50	-		
		達成率(%)	86	53	100	-		
成果面	②	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値				
		実績値					-	
		達成率(%)					-	
成果指標	①	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		市道用地取得率	%	目標値	100	100	100	100
		実績値	86	53	100	-		
		達成率(%)	86	53	100	-		
コスト面	②	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値				
		実績値					-	
		達成率(%)					-	
コスト内訳	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)				H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出 (千円) (A)				9,989	9,963	10,000	10,000
	受益者負担(使用料・負担金等)							
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)							
一般財源				9,989	9,963	10,000	10,000	
コスト指標	指標名				H21	H22	H23見込	H24計画
	①	受益者1件当たり (円) (A/B)		78,654	78,449	78,740	78,740	
		受益者 処理対象者数 (B)		127	127	127	127	
	②	未登記地権者数						
算出根拠等								

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく	A	安心して暮らせる地域づくりにはライフラインとなる道路の維持管理等必要不可欠なことから未登記路線を整理することで安心して暮らせる地域づくりに貢献する。
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している	A	未登記路線を整理することは地域地権者にとっては道の地籍に繋がることから事業ニーズは高い。
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ	B	未登記市道が存在する市道の地権者、沿線の利用者に限定している。ただし、私権を主張し封鎖等が懸念される場合、通行量が多い路線は、広く影響がある
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)	A	地権者の世代交代が進むなか私有地内に市道が存続している事実を認識出来ること、又は地域発展への基礎となる地域づくりに繋がっている。
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である	A	地域協力の基、地元有識者や立会い時の意見により公園だけでは判断しきれない複雑な問題も円滑に解決されている。
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている	A	未登記路線を整理することは個人所有地間の境界等確認できることから事業評価が高まっている。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている	A	本事業は将来的コスト削減を図る目的のものである。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である	A	概ね適正であると考え、過去のデータ(地籍調査や中部縦貫道路用地測量等)の共有等で多少改善が可能と考える。
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である	A	受益者=地権者でなく市民全体に及ぶ事業と想定される。
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計		19.0 / 20.0	100点換算 → 95 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	事業量が大きく、今後も継続して行く必要がある。				

総合評価(二次評価)	維持・改善 ○	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	・H26までに重要路線の未登記処理を解消できるよう取り組んでいく必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	10,000	15,000	5,000	15,000	15,000
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	10,000	15,000	5,000	15,000	15,000

予算要求の概要	市道未登記用地の調査、測量、登記に要する費用
要求額増減理由	積極的な事業の推進
①支所	世代交代が進むなか地権者の理解が得られない事案があるほか地権者の住所確認等に時間を要する
②本庁所管課(維持課)	市道未登記路線の処理については、年次計画に基づき積極的に業務委託を発注し未登記路線の解消に努める
地域政策課	
地域振興特別予算措置期間に完了することが必要である。	

財務部査定 の考え方	要求どおり
市長査定 の考え方	財務部調整どおり

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	74799	花街道整備事業	担当課	丹生川支所 基盤産業課	内線	3141
予算	会計	1 一般会計	特別予算の 位置付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	7 土木費		○	B 一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	4 都市計画費			C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	7 快適環境整備費			D その他事業	
市長の約束	4	個人・家庭・地域を大切に社会を築きます ・日常生活における買い物、通勤、通学、通院などの移動手段を確保するため、市民の生活を守る公共交通網を整備します。				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民及び観光来客者等	受益者数	4,643 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	県外来客者及び市民が通行する市道・大規模林道等の路側(雑草・支障木除去)することで 四季折々の美しい自然・快適環境を楽しんでもらう。		
概要	事業の実施手法(手段)	自治会・個人事業主への委託		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	① 業務量	算出根拠等	L×W	指標名				
				単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果面	②	算出根拠等	達成率(%)	目標値				
				実績値				
成果指標	① 市道・大規模林道等	算出根拠等	L×W	目標値	34.7	34.7	34.7	44.8
				実績値	41	40	35	-
成果指標	②	算出根拠等	達成率(%)	目標値	118	115	100	-
				実績値				
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額	
	歳出(千円)(A)			1,424	1,249	1,500	1,500	
	受益者負担(使用料・負担金等)							
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)							
	一般財源			1,424	1,249	1,500	1,500	
コスト指標	指標名			H21	H22	H23見込	H24計画	
	①	受益者1件当たり(円)(A/B)		307	269	323	323	
		受益者 地域住民(B)	4,643	4,643	4,643	4,643		
	②							
算出根拠等								

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく	A	生活道路の安全確保に寄与している。
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している	A	毎年、各地域からの要望があり路側の雑草支障木等除去することで交通の安全確保にも繋がっている。
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ	B	市民及び県内外からの来客者にも好評を得ている。
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)	A	当初の計画どおり地域からも好評を得ている。
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である	A	一部、各自治会等に委託し地域の連携向上にも有効である。
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている	B	支障木・雑草等の除去時期に工夫している。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト縮減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている	B	自治会の協力も得ていることから今後も事業推進にあたりたい。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である	A	地域の快適環境の向上。
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である	A	毎年実施することで地域の快適環境作りに寄与する。
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計		17.0 / 20.0	100点換算 → 85 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	住民の生活道路の安全確保から、今後も継続して実施する必要がある。				

総合評価(二次評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	・道路の安全確保は一般予算で対応しているところであるが、丹生川地域の地域振興となるよう実施し、事業効果を精査する必要がある。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	1,500	1,500	0	1,500	1,500
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	1,500	1,500	0	1,500	1,500

予算要求の概要	雑草・支障木の除去に係る経費
要求額増減理由	
①支所	特になし
②本庁所管課(都市整備課)	
事業実施の課題	道路利用者の安全性を確保するため、適正な事業実施時期の設定
地域政策課	
樹木花等の植栽、草刈等地域振興特別予算で措置されている類似事業については、景観保全、安全確保等の視点から全市的な検討、調整が必要である。	

財務部査定 の考え方	要求どおり
市長査定 の考え方	財務部調整どおり

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	94199 枝番	花のふるさとづくり事業	担当課	丹生川支所 地域振興課	内線 3121	
予算	会計	1 一般会計	特別 位置 付け の 予算	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	9 教育費		O	B	一般予算の上乗せとして実施されている事業
	項	4 社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	1 社会教育総務費		D	その他事業	
市長の約束	8	豊かな自然環境を守り、環境モデル都市を作ります。環境保全に取り組みます。				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	各種団体・市民	受益者数	80 団体
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	国道、県道、市道沿いを中心として花飾りを実施し、このことを通じて地域の連携意識の高揚を図ると共に、町内の環境美化の推進及び高山市へ訪れる多くの観光客の目を楽しませ地域全体のイメージアップを図る。		
概要	事業の実施手法(手段)	コスモス街道のコスモスの育苗、植栽、栽培管理について高山市連合長寿会丹生川地区長寿会に委託。花いっぱい運動については各種団体及び個人の活動で行っている。		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	①	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		算出根拠等	コスモス街道植栽距離	Km	目標値 実績値	12 12	12 12	12 12
算出根拠等		予定距離/植栽距離		達成率(%)	100	100	100	-
成果面	②	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		算出根拠等		目標値 実績値				
算出根拠等				達成率(%)				-
成果指標	①	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		算出根拠等	花いっぱい運動参加団体数	団体	目標値 実績値	80 81	80 80	80 80
算出根拠等				達成率(%)	101	100	100	-
コスト面	②	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		算出根拠等		目標値 実績値				
算出根拠等				達成率(%)				-
コスト内訳	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)				H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)(A)				6,600	5,390	6,300	6,400
	受益者負担(使用料・負担金等)							
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)							
コスト指標	一般財源				6,600	5,390	6,600	6,400
	指標名				H21	H22	H23見込	H24計画
	①	受益者1件当たり(円)(A/B)			81,481	67,375	78,750	80,000
		受益者	参加団体数(B)		81	80	80	80
算出根拠等								

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく	A	総合計画への明確な位置づけはないものの、市長公約の環境保全に取り組みますに結びつく。
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している	A	各単位長寿会、各種団体、各家庭でのニーズが高い。
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ	A	道路沿線等の植栽で通行する人の目を楽しませている。
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)	A	道路沿線等の植栽で通行する人の目を楽しませている。
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である	A	各種団体、家庭等も取り組んでいて、地域のコミュニケーションの向上にも有効である。
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている	B	交通事故防止などに取り組んでいる。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト縮減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている	A	各種団体、家庭等が取り組んでいる。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である	A	各種団体、家庭等が参加している。経費は資材費が主体であり、適正である。
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である	A	花のふるさとづくりとして地域に根付いた活動であり、植え付けから水やりまで多くの住民が携わっている。また、観光資源ともなっている。
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計	19.0 / 20.0	100点換算	95 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	高山市の東の玄関口として、多くの観光客が往来する丹生川地域の環境美化のみでなく、高山市全体のイメージアップにつながっていく事業であり、今後も継続して実施する。				

総合評価(二次評価)	維持・改善	拡大	○ 縮小	廃止の検討	完了
	・「花いっぱい運動」に対しては、当該地域振興予算のほか、一般予算による補助金(市民憲章推進事業補助金、特色ある地区活動事業補助金等)が直接・間接に助成されており、地域振興特別予算の終期も踏まえた助成のあり方を再検討するとともに、事業費規模などについても検討する必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 調整額	市長 査定額
歳出(千円)	6,300	6,400	100	6,300	6,300
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	6,300	6,400	100	6,300	6,300

予算要求の概要	花壇花飾りの経費、コスモス街道植栽管理委託料
要求額増減理由	
①支所	高山市の東玄関口として高山市のイメージアップを図るため、一般予算への移行を検討する必要がある。
②本庁所管課(市民活動推進課)	地域社会教育推進事業は、花いっぱい運動に係る経費として全支所地域において地域振興特別予算に計上されており、管理委託や花苗等の配付等、地域によって異なる。現在、市民憲章推進協議会が実施している花いっぱい運動に対する助成等類似事業との関係を整理しているところであり、当面、当該事業を継続するなかで、事業のあり方や一般予算との関係等を整理する必要がある。
地域政策課	
同上	

財務部査定 の考え方	要求どおり
市長査定 の考え方	財務部調整どおり

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	94699 地域芸術文化振興事業	担当課	丹生川支所 地域振興課	内線 3121
予算	会計	1 一般会計	特別 位置 付け の 予算	A 合併前から実施されているイベント・行事
	款	9 教育費		B 一般予算の上乗せとして実施されている事業
	項	4 社会教育費		C 終期を定めて実施する事業・単年度事業
	目	6 文化振興費		D その他事業
市長の約束	9	伝統文化を守り、次世代へ継承します。 芸術文化の振興を積極的に支えます。		

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民	受益者数	950 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	地域に根づいた芸術文化の振興を図るため、丹生川地区社教が実施する文化活動の一環である「文化展」と芸術活動の一環である「芸術祭」の開催費用の一部を補助する。		
概要	事業の実施手法(手段)	地域住民が主体となって事業が推進されるよう、丹生川地区社会教育運営委員会への事業補助として実施。		
概要	前回の評価からの改善・改革のポイント			

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 文化展の開催	算出根拠等	開催回数/年	目標値	1	1	1	1
実績値				1	1	1	-	
達成率(%)			100	100	100	-		
算出根拠等		開催回数/年	達成率(%)	100	100	100	-	
成果面	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	② 芸術祭の開催	回	目標値	1	1	1	1	
			実績値	1	1	1	-	
	達成率(%)			100	100	100	-	
算出根拠等		開催回数/年	達成率(%)	100	100	100	-	
成果指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 参加者人数	人	目標値	450	450	450	450	
			実績値	432	474	450	-	
	達成率(%)			96	105	100	-	
算出根拠等		入場者数/予定人数	達成率(%)	96	105	100	-	
コスト面	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	② 参加者人数	人	目標値	500	500	500	500	
			実績値	600	550	500	-	
	達成率(%)			120	110	100	-	
算出根拠等		入場者数/予定人数	達成率(%)	120	110	100	-	
財源内訳	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額		
	歳出 (千円) (A)		300	300	300	300		
	受益者負担(使用料・負担金等)							
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)							
コスト指標	指標名		H21	H22	H23見込	H24計画		
	① 受益者1件当たり (円) (A/B)	(A/B)	291	293	316	316		
		受益者 入場者数 (B)	1,032	1,024	950	950		
	算出根拠等							

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく	A	総合計画への明確な位置づけはないものの、市長公約の芸術文化の振興を積極的に支えま
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している	A	丹生川村時代からの伝統行事であり市民の強いニーズがある。
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ	A	入場者には制限がない。
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)	A	事業実施状況、来場者ともに達成している。
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である	A	地区社教が中心となって実施して有効である。
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている	A	参加予定者を達成している。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト縮減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている	A	参加者が練習の成果を発揮できるよう工夫されている。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である	A	入場制限もなく、誰でも参加できるため適正である。
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である	A	文化芸術活動の発表の場であり、開催は文化芸術活動の意欲の向上に繋がっている。入場者数等から適正である。
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計	20.0 / 20.0	100点換算	100 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

○	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
次年度の 実施方針 (担当課評価)	丹生川地区社会教育運営委員会が中心となって事業を実施している。地域住民が期待している伝統的な行事であり、地域芸術文化の振興発展に大きく寄与している。行政からの支援は今後とも必要である。				

総合評価 (二次評価)	維持・改善	拡大	○	縮小	廃止の検討	完了
・全体的なバランスのなかから、地域振興特別予算の終期も踏まえた助成のあり方の再検討や事業費規模などについて、検討する必要がある。 ・特別期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。						

議会からの 提言等	
--------------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費 (人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 調整額	市長 査定額
歳出 (千円)	300	300	0	300	300
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	300	300	0	300	300

予算要求 の概要	文化展・芸術祭の開催に対する助成
要求額 増減理由	
①支所	
地域芸術文化の振興発展に大きく寄与しており、今後も支援が必要である。一般予算への移行を検討する必要がある。	
②本庁所管課 (生涯学習課)	
地域文化振興事業は、地域の公民館等において開催される文化祭・芸術祭、文化講演会等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されているが、地域によって、内容・実施主体・助成割合等が異なっているため、一定のルール化について検討する必要がある。 また、文化芸術鑑賞事業等一般予算で行っている文化振興事業と地域文化振興事業との関係についても整理する必要がある。	
地域政策課	
同上	

財務部査定 の考え方	要求どおり
市長査定 の考え方	財務部調整どおり

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	94699	地域芸能文化振興事業 (丹生川文化ホール自主事業)	担当課	丹生川支所 地域振興課	内線	3121
予算	会計	1 一般会計	特別 位置 付け の 予算	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	9 教育費		O	B 一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	4 社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	6 文化振興費		D	その他事業	
市長の約束	9	伝統文化を守り、次世代へ継承します。 芸術文化の振興を積極的に支えます。				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民	受益者数	1,000 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	著名な芸能人のコンサートや演劇等の公演の機会に触れ、地域住民の芸能文化の振興を図る。		
概要	事業の実施手法(手段)	地域住民が主体となって事業が推進されるよう、丹生川地区社会教育運営委員会への事業補助として実施。		
概要	前回の評価からの改善・改革のポイント			

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	① 自主事業開催回数	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	2	2
算出根拠等	2回/年		達成率(%)	100	100	100	-
成果面	②	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値		
算出根拠等			達成率(%)				-
成果指標	① 入場者数	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	500	500
算出根拠等	入場者数		達成率(%)	107	101	100	-
コスト面	② 入場者数	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	500	500
算出根拠等	入場者数		達成率(%)	115	106	100	-
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)(A)			3,000	2,500	2,500	2,500
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
コスト面	一般財源			3,000	2,500	2,500	2,500
	①	指標名		H21	H22	H23見込	H24計画
		受益者1件当たり(円)(A/B)		2,708	2,408	2,500	2,500
	受益者	入場者(B)		1,108	1,038	1,000	1,000
算出根拠等	自主事業1回あたり経費(円)		1,500,000	1,250,000	1,250,000	1,250,000	
算出根拠等	自主事業経費/開催回数						

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく	A	総合計画への明確な位置づけはないものの、市長公約の芸能文化の振興を積極的に支えま
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している	A	全市民が対象でニーズが高い。
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ	A	全市民が対象である。
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)	A	予定入場者数を達成している。
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である	A	毎回予定入場者数を達成している。
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている	A	毎回事業内容を検討して実施している。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト縮減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている	A	自主財源の確保に努力している。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である	A	入場料を徴収し実施している。
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である	A	質の高い芸能文化に触れることができ、入場者も予定者数を超えていて適正である。
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計	20.0 / 20.0	100点換算	100 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
次年度の 実施方針 (担当課評価)	地域住民が身近な施設で演劇等の公演の機会を得るための重要な事業であり、平成19年度より丹生川地区社会教育運営委員会が主体となって事業を実施している。より一層地域住民のニーズに合った事業を実施するために、今後も継続して地区社教で実施する必要がある。			

○ 維持・改善	拡大	○ 縮小	廃止の検討	完了
総合評価 (二次評価)	・一般予算による文化芸術鑑賞事業の拡大により、H23より丹生川文化ホールでも拡大実施しているため、実績や効果などを検証のうえ、整理する必要がある。 ・特別期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。			

議会からの 提言等	
--------------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 調整額	市長 査定額
歳出(千円)	2,500	2,500	0	2,000	2,000
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	2,500	2,500	0	2,000	2,000

予算要求の概要	講演会等の開催に対する助成
要求額増減理由	
①支所	地域芸能文化の振興発展に大きく寄与しており、今後も支援が必要である。一般予算への移行を検討する必要がある。
②本庁所管課(生涯学習課)	地域文化振興事業は、地域の公民館等において開催される文化祭・芸能祭、文化講演会等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されているが、地域によって、内容・実施主体・助成割合等が異なっているため、一定のルール化について検討する必要がある。また、文化芸術鑑賞事業等一般予算で行っている文化振興事業と地域文化振興事業との関係についても整理する必要がある。
地域政策課	
同上	

財務部査定 の考え方	地域振興計画どおりとする
市長査定 の考え方	財務部調整どおり

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	94799	文化財標柱等設置事業	担当課	丹生川支所 地域振興課	内線	3121
予算	会計	1 一般会計	特別予算の 位置付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	9 教育費		O	B 一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	4 社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	7 文化財費		D	その他事業	
市長の約束	9	伝統文化を守り、次代へ継承します。 国内外から訪れる多くの観光客に名所旧跡、文化財等をわかりやすく紹介するため、パンフレット、説明板等の整備や、人と人のつながりを大切に語り部の教育に取り組みます。				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民	受益者数	93,312 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	文化財標柱の設置により、市民に対する文化財の周知を行い、文化財に対する理解と保護意識の高揚を図る。		
概要	事業の実施手法(手段)	丹生川町内に存在する文化財について、高山市の指定文化財標柱を整備し、文化財の周知及び文化財保護の啓発を行う。		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	① 事業量	算出根拠等	設置数	達成率(%)	H21	H22	H23見込	H24計画
					2	4	6	6
成果面	②	算出根拠等	達成率(%)					-
成果指標	① 文化財標柱等の設置数	算出根拠等	設置数	達成率(%)	100	100	100	-
コスト面	①	算出根拠等	達成率(%)					-
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額	
	歳出(千円)(A)			400	627	890	900	
	受益者負担(使用料・負担金等)							
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)							
コスト面	一般財源			400	627	890	900	
	指標名			H21	H22	H23見込	H24計画	
	①	受益者1件当たり(円)(A/B)	4	7	10	10		
		受益者 市民(4月1日現在)(B)	94,235	93,822	93,312	93,500		
算出根拠等								

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく	A	総合計画への明確な位置づけはないものの、市長公約に結びつく。
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している	A	市民、文化財所有者のニーズが高い。
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ	A	文化財の保存、継承につながる。
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)	A	文化財の保護啓発につながる。
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である	A	文化財により石柱、木看板等設置を行っている。
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている	B	設置に対して所有者の同意が得られない文化財がある。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト縮減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている	A	文化財により石柱、木看板等設置を行っている。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である	A	文化財は市民の財産であり文化財の保護啓発として適当である。
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である	A	文化財は市民の財産であり文化財の保護啓発として適当である。
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計		19.0 / 20.0	100点換算 → 95 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
次年度の 実施方針 (担当課評価)	平成13年度より計画された文化財標柱等の設置については、平成19年度までに設置基準種目(文化財分類)については全て完了した。しかし、古い標柱は木製であり、腐食が進んでいる為、文化財の状況確認の中で随時更新していく必要がある。平成26年度までに完了予定。			

○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
総合評価 (二次評価)	(担当課評価に同じ)			

議会からの 提言等	
--------------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 調整額	市長 査定額
歳出(千円)	900	900	0	900	900
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	900	900	0	900	900

予算要求の概要	文化財標柱設置にかかる経費
要求額増減理由	
①支所	設置を希望しない所有者の承諾を得られるよう交渉する必要がある。
②本庁所管課(文化財課)	文化財標柱・説明看板の設置は文化財保存や啓発の観点から必要であり、設置計画に基づき計画的に設置を進める必要がある。
地域政策課	計画的に実施し、地域振興特別予算措置期間中に設置完了する必要がある。

財務部査定 の考え方	要求どおり
市長査定 の考え方	財務部調整どおり

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	95199	地域スポーツ振興事業 (体育大会開催助成事業)	担当課	丹生川支所 地域振興課	内線	3121
枝番						
予算	会計	1 一般会計	特別予算の 位置付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	9 教育費		O	B 一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	5 保健体育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	1 体育総務費		D	その他事業	
市長の約束	4	個人・家庭・地域を大切に作る社会を築きます。				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民	受益者数	1,500 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	誰もが参加できるスポーツ大会を町内で開催することにより、限られた人達だけでなく、普段スポーツ活動をしていない人の参加を促進し、地域のスポーツ振興を図る。スポーツ大会に向けた日々の練習により、健全なからだづくりにつながる。また、絆もより一層深めることができる。		
概要	事業の実施手法(手段)	丹生川町内で地区対抗等の体育大会を開催する。春季大会(屋外球技)、夏季大会(屋外競技)秋季大会(軽スポーツ)、冬季大会(屋内競技・屋外競技) 全13種目		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	① 体育大会の開催	種目	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	13	13
算出根拠等	開催種目数/年		達成率(%)	100	100	100	-
成果面	②	種目	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値		
算出根拠等	達成率(%)						-
成果指標	① 延べ参加者人数	人	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	1,500	1,500
算出根拠等	年間延べ参加者数		達成率(%)	100	100	100	-
コスト面	②	種目	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値		
算出根拠等	達成率(%)						-
コスト内訳	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)(A)			900	900	900	900
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
コスト指標	一般財源			900	900	900	900
	指標名			H21	H22	H23見込	H24計画
	①	受益者1件当たり(円)	(A/B)	600	600	600	600
	②	受益者 参加者数	(B)	1,500	1,500	1,500	1,500
算出根拠等							

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく	A	総合計画への明確な位置づけはないものの、市長公約に結びつく。
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している	A	スポーツ愛好家からのニーズが強い。
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ	A	丹生川地区市民対象であり、地域のスポーツ振興に効果が高い。
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)	A	13種目の競技を実施し幅広い年代層の参加を得ている。
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である	A	13種目の競技を実施し幅広い年代層の参加を得て有効である。
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている	A	毎年委員会で開催内容を検討して問題はない。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト縮減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている	A	最小限の経費で実施している。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である	A	子どもから老人まで各種スポーツに参加できるため適正である。
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である	A	子どもから老人までが、各種スポーツに参加できる機会を得るためには適正である。
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計	20.0 / 20.0	100点換算	100 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	丹生川地区社会教育運営委員会が主体となって事業を実施している。地域住民が期待しているスポーツ行事であり、地域のスポーツ振興に大きく寄与している。行政としての支援も今後とも継続していく必要がある。				
総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主的な活動とすべく、負担金の段階的な引き下げを行う必要がある。</li> <li>特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。</li> </ul>				
議会からの提言等					

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	900	900	0	900	900
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	900	900	0	900	900
予算要求の概要	地域スポーツ大会の開催に対する助成				
要求額増減理由					
事業実施の課題	①支所				
	地域住民のスポーツ振興を継続拡大していくために一般予算への移行を検討する必要がある。				
事業実施の課題	②本庁所管課(スポーツ振興課)				
	地域スポーツ振興事業は、地域の特性に応じた各種大会の開催や地域におけるスポーツ活動の推進等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されている。現在、一般予算の中で地域におけるスポーツ教室の開催方法やスポーツイベントのあり方等について検討しているところであり、当面、当該事業を継続する中で、事業のあり方や一般予算との関係等を整理する必要がある。				
地域政策課					
同上					
財務部査定 の考え方	要求どおり				
市長査定 の考え方	財務部調整どおり				

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	20899 旧ホテル乗鞍解体整備事業	担当課	丹生川支所 地域振興課	内線 3131
予算	会計	1 一般会計	特別予算の 位置付け	A 合併前から実施されているイベント・行事
	款	2 総務費		B 一般予算の上乗せとして実施されている事業
	項	1 総務管理費		C 終期を定めて実施する事業・単年度事業
	目	8 財産管理費		O D その他事業
市長の約束				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	受益者数	人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	使用されていない構築物、建物等の処分	
概要	事業の実施手法(手段)	不要構築物、建物等の処分解体	
前回の評価からの改善・改革のポイント			

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	①		回	目標値			
			実績値				-
算出根拠等			達成率(%)				-
成果面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	②		目標値				
実績値						-	
算出根拠等			達成率(%)				-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	①	千人	目標値				
実績値						-	
算出根拠等			達成率(%)				-
コスト面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	② イベント入込者数	人	目標値				
実績値						-	
算出根拠等			達成率(%)				-
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)(A)						1,600
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
コスト面	一般財源						1,600
	指標名		H21	H22	H23見込	H24計画	
	① 受益者1件当たり(円)(A/B)	(A/B)					
		受益者(B)					
算出根拠等							

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく	A	使用されていないものを整備することで、安心した市民の生活が保たれ、適正な維持管理業務が遂行される
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している	C	直接市民との関わりがない
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ	C	直接市民との関わりがない
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)	評価対象外	平成24年度新規事業のため
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である	評価対象外	平成24年度新規事業のため
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている	評価対象外	平成24年度新規事業のため
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト縮減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている	評価対象外	平成24年度新規事業のため
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である	評価対象外	平成24年度新規事業のため
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である	評価対象外	平成24年度新規事業のため
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計		2.0 / 6.0	100点換算 → 33 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	維持・改善	拡大	○	縮小	廃止の検討	完了
	旧ホテル本体の解体処分を行う					

総合評価(二次評価)	維持・改善	拡大		縮小	廃止の検討	完了

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	0	1,600	1,600	1,600	1,600
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	0	1,600	1,600	1,600	1,600

予算要求の概要	旧ホテル乗鞍内の備品等の処分委託料
要求額増減理由	
①支所	不要構築物、建物等の処分を着実に進める必要がある。
②本庁所管課(管財課)	
事業実施の課題	備品の有効活用及び適正な処分が必要である。
地域政策課	
同上	

財務部査定の考え方	要求どおり
市長査定の考え方	財務部調整どおり

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	20999	丹生川地域再発見事業		担当課	丹生川支所 地域振興課	内線
事業費	1	一般会計				
款	2	総務費				
項	1	総務管理費				
目	9	企画費				
市長の約束	1	積極的な観光振興策を実施します ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。 ・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指します。				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

誰を(対象)	地域住民・外の観光客	受益者数	93,312 人
目的	地域活力向上のため、地域の魅力の再発見、地域資源の発掘を行う		
概要	地域観光資源の再構築を行い、それに向けた誘客と地域資源を守ることにより地域振興をはかる		
前回の評価からの改善・改革のポイント	地域の資源、魅力の集約の中で、具体的な利用に向けた取り組みを進める。		

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
①	意見交流会、ワークショップ、発表会	回	目標値		5	2	2
			実績値		5	2	-
			達成率(%)		100	100	-
②	実証実験	回	目標値			1	2
			実績値			1	-
			達成率(%)			100	-
①	参加者数(延べ)	人	目標値		100	50	100
			実績値		100	50	-
			達成率(%)		100	100	-
②	算出根拠等		目標値				
			実績値				
			達成率(%)				

  

コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)	H21 決算額				H22 決算額				H23 予算額				H24 実施計画額				
		歳出(千円)				歳入(千円)				歳出(千円)				歳入(千円)				
財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)																	
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)																	
	一般財源					530				1,000				1,000				
コスト指標	① 受益者1件当たり(円)	(A/B)	H21				H22				H23見込				H24計画			
							114				215				215			
			受益者	地域住民	(B)	4,643				4,643				4,643				

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	A	既存の資源を新たな利用方法で活用して進める。
	B(1)	一部結びつく		
	C(0)	結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	B	住民対象よりも、外部に向けたニーズが大きい。
	B(1)	ある程度のニーズがある		
	C(0)	少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	C	一部地域の住民に限られる。
	B(1)	概ね市民全体におよぶ		
	C(0)	わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	B	意見交換による情報の収集ができた。
	B(1)	概ね達成している (75%以上)		
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	B	各方面の立場、職業等の人からの意見、情報収集が行えた。
	B(1)	概ね有効である		
	C(0)	見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	B	地域住民の理解、協力体制の確立が必要。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	A	事業の計画、24年度より誘客に向かう。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	A	・受益者数は不明であるが、地域への観光入込客数の増加と、地域のPRに貢献すると予想され、適正であると判断される。
	B(1)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	A	観光客の入込みが期待されるとともに、地域資源を守る事の認識向上につながり、適正と思われる。
	B(2)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
合計		14.0 / 20.0	100点換算	70 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

○	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
次年度の 実施方針 (担当課評価)	地域力向上を目指した地域資源活用の取り組みを、民間活動へと移行するため、実証を重ねると共に課題整理、案内看板や仕組みづくりに取り組む。				

○	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
総合評価 (二次評価)	・成果の有効活用について検討する必要がある。				

議会からの 提言等	
--------------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費 (人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 調整額	市長 査定額
歳出(千円)	1,000	1,000	0	1,000	1,000
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	1,000	1,000	0	1,000	1,000

予算要求の概要	モニタリングツアー等の実施に係る経費
要求額増減理由	
①支所	地域活力のため、地域の魅力の再発見、地域資源の発掘、活用を行うため24年度まで継続する。
②本庁所管課(地域政策課)	事業最終年度のため成果を検証したうえで、次年度以降も成果が生かされるためのしくみづくりが必要である。
地域政策課	

財務部査定 の考え方	要求どおり
市長査定 の考え方	財務部調整どおり

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	62499 乗鞍岳・乗鞍山麓五色ヶ原の森活性化対策事業	担当課	丹生川支所 基盤産業課	内線	3131
予算	会計	1 一般会計	特別予算の 位置付け	A	合併前から実施されているイベント・行事
	款	6 商工費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業
	項	2 観光費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
目	3 自然公園費	D	その他事業		
市長の約束	積極的な観光振興策を実施します ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。 ・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指します。				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	不特定多数の都市住民及び旅行者、マスコミ関係者	受益者数	210,497 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	・地域が誇る貴重な自然資源である 乗鞍岳・乗鞍山麓五色ヶ原の森などを、旅行者やマスコミ、都市住民にPRし、誘客促進による地域振興を図る。また、乗鞍岳活性化対策として誘客拡大につながる振興策の実証により効果的な誘客策を検討する。		
概要	事業の実施手法(手段)	・都市圏における観光誘客キャンペーンの参加開催 ・乗鞍岳誘客拡大実証試験の実施に伴う協議会負担金		
前回の評価からの改善・改革のポイント	H22は、五色ヶ原の森宿泊パッケージを実施したが、H23は縮小し民間の自主運営に大部分を移行。			

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	①	指標名	単位	目標・実績				
				H21	H22	H23見込	H24計画	
成果面	算出根拠等	都市圏における観光誘客キャンペーン等参加	回	目標値	4	4	4	0
			実績値	4	4	4	-	
成果指標	算出根拠等	達成率(%)		100	100	100	-	
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果面	算出根拠等	乗鞍岳誘客拡大実証試験の実施	回	目標値	12	12	12	10
			実績値	12	11	12	-	
成果指標	算出根拠等	達成率(%)		100	92	100	-	
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果面	算出根拠等	観光入込客数(乗鞍岳・五色ヶ原の森)	人	目標値	203,000	205,000	205,000	205,000
			実績値	197,710	210,497	205,000	-	
成果指標	算出根拠等	達成率(%)		97	103	100	-	
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果面	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果指標	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果面	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果指標	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果面	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果指標	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果面	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果指標	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果面	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果指標	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果面	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果指標	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果面	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果指標	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果面	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果指標	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果面	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果指標	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果面	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果指標	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果面	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果指標	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果面	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果指標	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果面	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果指標	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果面	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果指標	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果面	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果指標	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果面	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果指標	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果面	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果指標	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果面	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果指標	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果面	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果指標	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果面	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果指標	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果面	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果指標	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果面	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果指標	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果面	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果指標	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果面	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果指標	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果面	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果指標	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果面	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果指標	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果面	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果指標	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果面	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果指標	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果面	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果指標	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果面	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果指標	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果面	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果指標	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果面	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果指標	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果面	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果指標	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果面	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果指標	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果面	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果指標	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果面	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果指標	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果面	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果指標	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果面	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果指標	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込
成果面	算出根拠等	達成率(%)						
			指標名					

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	62199 乗鞍サイクルヒルクライム 開催事業	担当課	丹生川支所 基盤産業課	内線 3131
予算 項目	会計	1 一般会計	特別 位置 付け の 予算	A 合併前から実施されているイベント・行事
	款	6 商工費		B 一般予算の上乗せとして実施されている事業
	項	2 観光費		C 終期を定めて実施する事業・単年度事業
	目	1 観光振興費		D その他事業
市長の約束	積極的な観光振興策を実施します ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。 ・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指します。			

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	ヒルクライムレース参加者	受益者数	565 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	・乗鞍スカイライン等を活用し、山岳自転車ロードレースを開催。乗鞍岳の観光振興策として、誘客拡大を図る。		
概要	事業の実施手法(手段)	・乗鞍サイクルヒルクライム開催に伴う実行委員会負担金		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画	
				目標値	実績値			
① ヒルクライム開催回数	回	回	目標値	1	1	1	1	
			実績値	1	1	1	-	
			算出根拠等	達成率(%)	100	100	100	-
成果面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画	
				目標値	実績値			
②			目標値					
			実績値				-	
			算出根拠等	達成率(%)				-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画	
				目標値	実績値			
① ヒルクライムレース エントリー者数	人	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	
			実績値	593	478	565	-	
			算出根拠等	達成率(%)	59	48	57	-
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)	H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額			
						歳出(千円)(A)	1,500	1,200
財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)	0	0	0	0			
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)	0	0	0	0			
	一般財源	1,500	1,200	1,200	1,200			
	算出根拠等							
コスト指標	指標名	単位	H21	H22	H23見込	H24計画		
							受益者1件当たり(円)(A/B)	2,530
①	受益者	エンタリー者数(B)	593	478	565	1,000		
			算出根拠等					

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく	A	・総合計画への明確な位置づけがなされている。 ・市長公約のひとつである入込客数増大の一助となる。
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している	A	・乗鞍岳は言うまでもなく、奥飛騨温泉郷や高山市全体への観光入込客数増大のための施設運営として、非常に強いニーズがある。
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ	B	・高山市への観光入込客数増大による地域経済効果と地域活性化発現のため、その事業効果は概ね市民全体に及ぶものと判断される。
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)	C	・エントリー者数は、1,000人を目標にしているものの、これまでは60%未満と大幅に目標を下回っている。
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である	B	・エントリー者数は、下回っているものの、地域内宿泊施設への宿泊を始めとする地域経済効果が発現され、概ね有効であると判断される。
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている	B	・エントリー者数の増大による、さらなる地域経済効果の発現と、将来のイベントの自立のために、実行委員会組織との協議を進め改善に取り組んでいる。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト縮減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている	B	・エントリー者数の増大による、大会参加費財源の確保など、将来のイベントの自立のための改善に取り組んでいる。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である	C	・現段階では、エントリー者数が目標を下回り受益者1件当たりのコストが割高となっており、改善が必要である。
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である	C	・現段階では、エントリー者数が目標を下回り成果に対するコストが割高となっており、改善が必要である。
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計	8.0 / 20.0	100点換算 → 40 / 100	

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	・当該事業は、丹生川支所と上宝支所の連携事業として事業費も折半としている。H25を目途にエントリー者数を1,000人規模に乗せ、近い将来は地元観光関係者や新聞社らが中心となった自主運営に移行する。				

総合評価(二次評価)	維持・改善	拡大	○ 縮小	廃止の検討	完了
	・地域の自主的な活動とすべく、負担金の段階的な引き下げを行う必要がある。 ・特例期間終了を見据え、地域への波及効果などの分析を行いつつ、行政の関与を段階的に縮小していく必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	1,200	1,200	0	1,200	1,200
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	1,200	1,200	0	1,200	1,200

予算要求の概要	乗鞍サイクルヒルクライム開催負担金
要求額増減理由	
①支所	
	競技エントリー者数の増加を図り、実行委員会の自主的な運営に移行する。
②本庁所管課(観光課)	
	自主的運営に向けて、参加者の増加対策を検討する必要がある。
地域政策課	
	主催する民間の関連団体と、行政の役割分担を明確にする必要がある。

財務部査定 の考え方	要求どおり
市長査定 の考え方	財務部調整どおり

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	72399 73 74	市道改良事業	担当課	丹生川支所 基盤産業課	内線	3141
予算	会計	1 一般会計	特別 位置 付け の 予算	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	7 土木費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	2 道路橋りょう費		○ C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	3 道路新設改良費		D	その他事業	
市長の約束	6	市民の生活と生命・財産を守ります。 支所地域と市街地を結ぶ主要道路の整備や都市計画道路の整備をすすめます。				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民及び観光来客者等	受益者数	10,000 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	当該路線は乗鞍山麓五色ヶ原の森へ運行する路線及び丹生川ダム周辺路線であり、整備することで通行の安全を図る。		
概要	事業の実施手法(手段)	工事費及び県への負担金		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	① 舗装新設	算出根拠等	指標名				H21	H22	H23見込	H24計画
			単位	目標・実績	目標値	実績値				
成果面	① 舗装新設	算出根拠等	単位	目標・実績	400	1,356	1,900	1,900	-	-
			達成率(%)		339	100	-	-		
成果指標	②	算出根拠等	単位	目標・実績						
			達成率(%)							
コスト面	① 舗装新設	算出根拠等	単位	目標・実績	400	1,356	1,900	1,900	-	
			達成率(%)		339	100	-	-		
コスト面	②	算出根拠等	単位	目標・実績						
			達成率(%)							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額				
	歳出(千円)(A)									
	受益者負担(使用料・負担金等)									
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)									
コスト面	一般財源									
	指 標 名		H21	H22	H23見込	H24計画				
コスト面	①	受益者1件当たり(円)(A/B)								
		受益者 利用者数(五色ヶ原等)(B)		9,681	10,000	10,000				
コスト面	②	算出根拠等								

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく	A	道路改良を進めることで活力ある地域づくりの一端を担う。
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している	A	快適な交通の安全確保。
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ	B	整備したことで内外者から好評を得ている。
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)	A	当初計画どおり通行者から好評を得ている。
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である	A	安全で快適な道路空間の整備として有効。
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている	B	一部ではあるが舗装整備したことで交通事故等を未然に防止した。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト縮減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている	B	落札額の低下に伴い請差額が増加したため計画値より長い延長の舗装整備することが出来た。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である	A	受益者数は計り知れないが、生活環境道路等を整備することでライフライン保全面で適正であると判断される。
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である	A	適正な道路の維持管理は安全な市民生活に不可欠であることから引き続き事業継続したい。
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計	17.0 / 20.0	100点換算	85 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	住民の生活道路、観光施設へのアクセス確保のため、今後も維持して実施していく必要がある。				

総合評価(二次評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	・計画的に実施する必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	13,000	10,000	△ 3,000	15,000	15,000
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	13,000	10,000	△ 3,000	15,000	15,000

予算要求の概要	旗鉾乗鞍線舗装新設
要求額増減理由	丹生川ダム関連事業の完了
①支所	
②本庁所管課(建設課)	
事業実施の課題	
地域政策課	
計画的に実施し、地域振興特別予算措置期間に完了することが必要である。	

財務部査定 の考え方	事業を前倒し実施
市長査定 の考え方	財務部調整どおり

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	74799	遊歩道等整備事業	担当課	丹生川支所 地域振興課	内線	3121
予算	会計	一般	特別予算の 位置付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	7 土木費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	4 都市計画費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	7 快適環境整備費		D	その他事業	
市長の約束	1	積極的な観光振興策を実施します。 合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民	受益者数	93,312 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	地域にある登山道、遊歩道を整備し、市民が快適に自然と親しめる環境整備を行う。		
概要	事業の実施手法(手段)	遊歩道の再整備、誘導看板の再整備を年度ごとに実施する。		
概要	前回の評価からの改善・改革のポイント			

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	① 実施箇所	箇所	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	1	2
活動指標	算出根拠等	設置数	達成率(%)	100	100	100	-
	算出根拠等	整備延長	達成率(%)				-
成果面	① 看板の設置	基	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値		4
成果指標	算出根拠等	達成率(%)			100	-	
	算出根拠等	達成率(%)	100	100		-	
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)	(A)	H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額	
			1,000	1,250	800	1,000	
コスト面	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
コスト面	① 受益者 市民(4月1日現在)	(B)	H21	H22	H23見込	H24計画	
			94,235	93,822	93,312	93,500	
コスト面	算出根拠等						

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく	A	総合計画への明確な位置づけはないものの、市長公約に結びつく。
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している	A	自然愛好家のニーズが高い。
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ	A	誰もが利用できる施設である。
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)	A	必要最小限の再整備を行っている。
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である	A	現場を理解している業者で効率的に実施している。
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている	A	必要な施設から実施している。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト縮減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている	A	現場に即した事業が実施できるよう関係者と打合せを行いながら実施する。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である	B	誰でもが利用できるためおおむね適正である。
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である	B	多くの市民を対象にした事業であり、安全を確保するため概ね適正である。
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計	17.0 / 20.0	100点換算	85 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
次年度の実施方針(担当課評価)	歩道の整備、看板の設置等により市民が安心安全に利用できる歩道の整備を今後も進める。			

○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
総合評価(二次評価)	・丹生川地域の地域振興となるよう実施し、市民及び観光客が安心して利用できるように工夫する必要がある。また、事業効果を精査する必要がある。 ・H26までに完了できるよう計画的に実施する必要がある。			

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	800	1,000	200	1,000	1,000
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	800	1,000	200	1,000	1,000

予算要求の概要	遊歩道の誘導看板・説明看板の設置にかかる経費
要求額増減理由	
①支所	遊歩道の周遊コースを設定し、案内看板・説明看板を設置することにより、観光客等を定着させる必要がある。
②本庁所管課(都市整備課)	遊歩道の周遊コースのPR
地域政策課	実施による効果を検証するとともに、施設の利用者増のためのPR等に取り組むことが必要である。

財務部査定 の考え方	要求どおり
市長査定 の考え方	財務部調整どおり

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	81399 消防ポンプ庫周辺環境整備事業	担当課	丹生川支所 地域振興課	内線 3113
予算	会計	1 一般会計	特別予算の 位置付け	A 合併前から実施されているイベント・行事
	款	8 消防費		B 一般予算の上乗せとして実施されている事業
	項	1 消防費		C 終期を定めて実施する事業・単年度事業
	目	3 消防施設費		D その他事業
市長の約束	1 市民の生活と生命・財産を守ります。 ・快適な生活環境整備を進めるため、下水道の整備を促進します。			

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民・観光客	受益者数	309 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	丹生川地域内における主要幹線道路沿いに設置している消防ポンプ庫を対象に、建物周辺の景観整備及び公衆トイレを設置することにより、良好な公衆衛生環境の確保を図る。		
概要	事業の実施手法(手段)	消防団丹生川支団第2分団第1班(法力班)の消防ポンプ庫敷地内に植栽整備及び公衆トイレ設置を行う。		
概要	前回の評価からの改善・改革のポイント			

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 植栽整備	ヶ所	目標値	1	1	1	1
実績値		1	1	1	1		
算出根拠等		達成率(%)	100	100	100		
② 公衆トイレ設置	棟	目標値	1	1	1	1	1
	実績値	1	1	1	1		
	算出根拠等	達成率(%)	100	100	100		
①	目標値						
	実績値						
	算出根拠等	達成率(%)					
②	目標値						
	実績値						
	算出根拠等	達成率(%)					
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)	H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額		
	歳出(千円)(A)	189	2,205	2,500	2,800		
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源	189	2,205	2,500	2,800		
コスト指標	指標名	H21	H22	H23見込	H24計画		
	① 受益者1件当たり(円)(A/B)	612	7,136	8,091	9,061		
	受益者 地域住民 (B)	309	309	309	309		
	算出根拠等						

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく	B	植栽整備と公衆トイレ設置により消防ポンプ庫周辺の衛生環境が改善された。
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している	A	消防ポンプ庫にトイレがなく不便であり予めから設置要望がある。
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ	B	消防団員や地域住民の利用が多いが、公衆トイレとして誰もが利用できる。
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)	B	丹生川地域は公衆トイレがないため消防ポンプ庫横に設置することで消防団員や市民が利用でき便利である。
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である	A	植栽整備と公衆トイレ設置により消防ポンプ庫周辺の衛生環境が改善された。
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている	B	清掃管理については消防団員が毎月2回実施する定期点検や行事の際に行っている。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト縮減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている	B	消防ポンプ庫の敷地面積が限られているため、適正な大きさと位置になるよう設計している。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である	B	利用価値のある施設であり、適正な経費となるよう設計している。
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である	B	利用価値のある施設であり、適正な経費となるよう設計している。
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計	12.0 / 20.0	100点換算	60 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	実施計画に基づき、1施設を整備予定(最終年度)				

総合評価(二次評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	(担当課評価に同じ)				

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	2,500	2,800	300	2,500	2,500
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	2,500	2,800	300	2,500	2,500

予算要求の概要	消防団車庫周辺の環境整備にかかる経費
要求額増減理由	工事設計監理業務委託費の増
①支所	
全ての消防ポンプ庫に公衆トイレを設置するよう要望されているが、地域振興特別予算の期限があり、農業集落排水が未整備である地域の対策についても検討が必要である。	
②本庁所管課(消防総務課)	
団車庫の環境整備は、団車庫整備計画に基づき更新に併せて整備を進める必要がある。	
地域政策課	
計画的に実施し、地域振興特別予算措置期間に設置完了することが必要である。	

財務部査定 の考え方	積算内容を精査
市長査定 の考え方	財務部調整どおり

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	92299 地域小学校教育振興事業	担当課	丹生川支所 地域振興課	内線 3121
予算	会計	一般	特別予算の 位置付け	A 合併前から実施されているイベント・行事
	款	9 教育費		B 一般予算の上乗せとして実施されている事業
	項	2 小学校費		C 終期を定めて実施する事業・単年度事業
	目	2 教育振興費		○ D その他事業
市長の約束	豊かな自然環境を守り、環境モデル都市を作ります。環境教育を推進します。			

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	丹生川小学校4年生	受益者数	44人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	環境の異なる子供たちとの交流や地元の人達の生活を体験することにより、児童の視野を広め豊かな人間性を育む。		
概要	事業の実施手法(手段)	平成3年度より南知多町の小学校と交流を実施。①南知多町の小学校との交流 丹生川小学校4年生44名。②地域生活体験、地引網等の体験。		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値		
① 事業費	算出根拠等	予算額/事業費	達成率(%)	100	100	100	-
			達成率(%)	100	100	100	-
	算出根拠等	達成率(%)					
②	算出根拠等	達成率(%)	達成率(%)				-
			達成率(%)				-
	算出根拠等	達成率(%)					
① 参加児童数	算出根拠等	参加者/参加予定数	達成率(%)	100	100	100	-
			達成率(%)	100	100	100	-
	算出根拠等	達成率(%)					
②	算出根拠等	達成率(%)	達成率(%)				-
			達成率(%)				-
	算出根拠等	達成率(%)					
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)(A)			600	600	600	600
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源			600	600	600	600
コスト指標	指標名			H21	H22	H23見込	H24計画
	①	受益者1件当たり(円)(A/B)		10,714	10,714	13,636	9,231
		受益者 丹生川小4年生(B)		56	56	44	65
	②	交流事業1回あたり		600,000	600,000	600,000	600,000
		算出根拠等	交流会補助金/実施回数				

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく	A	総合計画への明確な位置づけはないものの、市長公約に結びつく。
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している	A	児童のニーズが高い。
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ	A	丹生川小学校4年生が対象の事業。
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)	A	毎年対象児童全員が参加している。
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である	A	児童が体験内容を検討しながら実施している。
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている	B	自主規格での検討を行っていく必要がある。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト縮減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている	A	自主規格での検討を行っていく必要がある。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である	B	自己負担もあり概ね適正である。
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である	B	児童の体験学習であり、自己負担もあり概ね適正である。
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計		16.0 / 20.0	100点換算 → 80 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
次年度の実施方針(担当課評価) セカンドスクール(乗鞍青年の家研修)や修学旅行とは異なる漁業(海辺)の体験は、旧丹生川村と南知多町の姉妹町村提携により小学4年生を対象に続けられているが、今後は全市の均衡を視野に検討を図る。				

○ 維持・改善	拡大	○ 縮小	廃止の検討	完了
総合評価(二次評価) ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	600	600	0	600	600
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	600	600	0	600	600

予算要求の概要	南知多町小学校との交流事業に対する助成
要求額増減理由	
①支所	地域振興特別予算が終了する平成26年度以降も学校・PTAから事業継続の強い要望があり、学校行事や地域の活性化等を踏まえながら、一般予算で継続できないか検討する必要がある。
②本庁所管課(学校教育課)	H26までで事業終了であるが、郷土愛を培う交流事業として成果が上がっているため、平成27年度以降は学校と地域が連携して自主運営事業として実施する。 ・学年行事をスリム化するためにも、セカンドスクールとの整合を図り自主運営事業として実施する。 等の方針で検討する必要がある
地域政策課	
	特定地域の学校による他都市との交流事業に対する取組方針を定める必要がある。

財務部査定 の考え方	要求どおり
市長査定 の考え方	財務部調整どおり

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	91399 91399 91399	中学校部活動生徒送迎事業	担当課	丹生川支所 地域振興課	内線 3121	
予算	会計	一般	特別 位置 付け の 予算	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	9 記養育費		O	B	一般予算の上乗せとして実施されている事業
	項	1 教育総務費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	3 スクールバス管理費		D	その他事業	
市長の約束	7	将来を担う子どもを守り育てます。				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	丹生川中学校生徒	受益者数	38 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	土曜日に部活動用の生徒送迎バスを運行することにより、遠距離の生徒も部活動に参加できるようにする。		
概要	事業の実施手法(手段)	土曜日に行う部活動用にスクールバスの運行を行う。東部地区、荒城地区の2台運行。		
概要	前回の評価からの改善・改革のポイント			

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	①	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		運行回数	回	目標値	25	25	20	20
算出根拠等	1年間の運行回数	達成率(%)		100	100	100	-	
成果面	②	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		1日の利用生徒数	人	目標値	38	28	38	35
算出根拠等	達成率(%)		100	100	100	-		
成果指標	②	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		バス運行1回あたり(円)	(A/B)	186	689	653	709	
算出根拠等	部活バス運行経費/運行回数	達成率(%)						

  

コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)				
	H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額	
歳出(千円)	(A)	177	482	496	496
受益者負担(使用料・負担金等)					
その他特定財源(国・県支出金・起債等)					
一般財源		177	482	496	496

  

コスト面	①	指標名	H21	H22	H23見込	H24計画
		受益者1件当たり(円)	(A/B)	186	689	653
受益者	利用者	(B)	950	700	760	700
②	バス運行1回あたり(円)		7	19	24	35
算出根拠等	部活バス運行経費/運行回数					

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく	A	総合計画への明確な位置づけはないものの、市長公約に結びつく。
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している	A	生徒の保護者のニーズが高い。
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ	A	丹生川中学校、東部・荒城の生徒が対象である。
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)	A	対象生徒全員が利用している。
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である	A	部活動内容によって運行計画を立てている。
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている	B	地域バスの利用等の検討を行う。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト縮減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている	A	最低限の運行回数に抑えて計画運行している。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である	B	部活動の時間に配慮しており、遠距離往復料金としては概ね適正である。
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である	B	条件不利地域における子どもたちの部活動参加を支援する事業であり、コスト換算は出来ないが、適正と考える。
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計		16.0 / 20.0	100点換算 → 80 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	旧高山市と比較して生徒の通学にスクールバスを運行している中、学校部活のための土曜日のスクールバス運行は引き続き必要であり、今後も継続して実施する。地域バスの利用を検討する。				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・公共交通での対応も視野に入れながら、スクールバス利用についての考え方を調整する必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 調整額	市長 査定額
歳出(千円)	500	500	0	410	410
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	500	500	0	410	410

予算要求の概要	部活動生徒送迎用スクールバス運行経費
要求額増減理由	
①支所	遠距離通学生徒が部活動に参加するための交通手段の確保
②本庁所管課(教育総務課)	
事業実施の課題	合併前から実施しているものであり、遠距離という地域性を考慮し次年度も実施する。今後、公共交通事業との関連や部活動のあり方を精査のうえ、全市的に検討することとする。
地域政策課	
	部活動に係るスクールバス利用については、全市的なあり方の検討が必要である。

財務部査定 の考え方	積算内容を精査
市長査定 の考え方	財務部調整どおり

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	20999	地域振興事業補助金	担当課	丹生川支所 地域振興課	内線	3112
予算	会計	1 一般会計	特別 位置 付け の 予算	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	2 総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	1 総務管理費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	9 企画費		○ D	その他事業	
市長の約束	合併のメリットを生かし、それぞれの地域の特性をのばす。 ・地域の個性あるまちづくりと、市民の一体感を創るため、地域が手を取り合って取組む活動に支援します。					

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	丹生川地域住民	受益者数	4,643 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	地域の住民が自主的、主体的に取組む公共性の高い地域づくり事業に補助金を出す		
概要	事業の実施手法(手段)	・安心、安全快適な住環境づくりに関する事業 ・特色ある地域づくり、地域活性化に関する事業に補助をする。		
前回の評価からの改善・改革のポイント	多くの団体に利用してもらう			

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	① 実施目標	算出根拠等	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
						目標値	実績値	達成率(%)	
成果面	②	算出根拠等	指標名	単位	目標・実績				
					目標値				
成果指標	① 実施件数	算出根拠等	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
					目標値	10	10	10	10
成果指標	②	算出根拠等	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
					目標値				
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)					H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)(A)					1,998	3,805	4,000	4,000
	受益者負担(使用料・負担金等)								
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)								
	一般財源					1,998	3,805	4,000	4,000
コスト指標	①	算出根拠等	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
					目標値	430	820	862	862
					実績値	430	820	862	862
コスト指標	②	算出根拠等	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
					目標値	430	820	862	862
コスト指標	③	算出根拠等	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
					目標値	430	820	862	862
コスト指標	④	算出根拠等	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
					目標値	430	820	862	862

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく	A	地域住民が自主的に企画して地域の発展等に貢献している。
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している	A	業務によって財政的に困難な場合でも事業利用により実施出来る。
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ	C	限られた地域、団体等の利用である。
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)	B	事業のPR等により利用が増えている。
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である	B	地域の環境整備、地域の絆等を構築して行く上で必要であり、効果が出ている。
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている	B	地域住民に周知して、適正な利用、多くの人の参加する事業の推進を図る必要がある。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト縮減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている	A	補助対象経費も毎年精査が行われている。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である	A	住民自らが汗を流して取り組む事業であり、補助対象経費も限られている。
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である	A	住民自ら欲し、自ら汗を流して取り組む事業であり、住民の自主性も形成されることから適正である。
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計	15.0 / 20.0	100点換算	75 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
次年度の実施方針(担当課評価) 市民の創意と工夫による魅力ある地域づくりのため、今後も事業の推進が必要である。				

○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
総合評価(二次評価) ・平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査し、27年度以降の対応について検討する必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	4,000	4,491	491	5,000	5,000
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	4,000	4,491	491	5,000	5,000

予算要求の概要	地域住民が自主的、主体的に取組む公共性の高い地域づくり事業に対する助成
要求額増減理由	
①支所	
②本庁所管課(地域政策課)	
事業実施の課題	
地域政策課	

財務部査定 の考え方	要求どおり アンテナショップ運営補助金を追加
市長査定 の考え方	財務部調整どおり

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	20999	地域要望対応事業	担当課	丹生川支所 地域振興課	内線	3112
予算	会計	1 一般会計	特別 位置 付け の 予算	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	2 総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	1 総務管理費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	9 企画費		○ D	その他事業	
市長の約束	「合併のメリットを活かしつつ、それぞれの地域の特性を伸ばします」 ・地域住民から信頼される支所運営を目指し、支所機能の強化をはかるために、権限と予算の再構築を行います。					

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	地域住民	受益者数	4,643 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	安全、安心、快適な住環境づくり、地域活性化に資するために、地域住民からの要望に即応するため		
概要	事業の実施手法(手段)	市道、農道、水路等の公共施設の軽微な修繕を、支所長権限で行うもの		
前回の評価からの改善・改革のポイント	地域の要望を聞き、適正な対応、予算の執行に努める。			

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	① 実施目標	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	10	10
活動指標	算出根拠等		達成率(%)	110	130	100	-
	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
成果面	②		目標値				
	算出根拠等		達成率(%)				-
成果指標	① 実施件数	件	目標値	10	10	10	10
	算出根拠等		達成率(%)	110	130	100	-
成果指標	②		目標値				
	算出根拠等		達成率(%)				-
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)(A)			7,492	7,318	12,500	12,500
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
コスト面	一般財源			7,492	7,318	12,500	12,500
	指標名			H21	H22	H23見込	H24計画
	①	受益者1件当たり(円)(A/B)	1,614	1,576	2,692	2,692	
	②	受益者 地域住民(B)	4,643	4,643	4,643	4,643	
算出根拠等							

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく	A	市長公約に即結びつく事業である。
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している	A	ニーズに即対応できている。
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ	B	地域の要望により対応する事業であり、時として効果は地域に限られる事がある。
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)	A	要望等に即対応出来ている。
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である	A	町内会を通じてのPRを行い、町内を通しての対応で行う。
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている	A	緊急性がある事業を優先で行う。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト縮減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている	A	最小限の費用で、効果を出す方法での設計に取組む。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である	A	地域住民が安全で、安心して生活できる為に効果がある。
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である	A	最小限での費用効果で行い適正である。
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計	19.0 / 20.0	100点換算 → 95 / 100	

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	地域住民の要望を受け、地域基盤の修繕等に即応するため、現行のとおり事業実施する。				

総合評価(二次評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	・平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査し、27年度以降の対応について検討する必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 調整額	市長 査定額
歳出(千円)	12,500	14,600	2,100	10,200	10,200
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	12,500	14,600	2,100	10,200	10,200

予算要求の概要	公共施設等の軽微な修繕経費
要求額増減理由	
事業実施の課題	①支所
	②本庁所管課(地域政策課)
	地域政策課

財務部査定の考え方	きめ細かな地域要望対応を推進(配分額の調整による)
市長査定の考え方	財務部調整どおり

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	枝番	施設用地借上料	担当課	丹生川支所 地域振興課		内線
						3112
予算	会計		特別予算の 位置付け	○	A	合併前から実施されているイベント・行事
	款				B	一般予算の上乗せとして実施されている事業
	項				C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
	目				D	その他事業
市長の約束						

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)		受益者数	
	どういう状態にしたいのか(意図)	施設用地借上		
概要	事業の実手法(手段)	市の基準単価を上回る土地賃貸借		
	前回の評価からの改善・改革のポイント			

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	①	施設用地	㎡	目標値	1,054,873	1,054,873	1,054,873
実績値				1,054,873	1,054,873	1,054,873	-
算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	-
成果面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	②		目標値				
実績値						-	
算出根拠等			達成率(%)				-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	①		目標値				
実績値						-	
算出根拠等			達成率(%)				-
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額	
	歳出(千円)(A)		13,011	13,011	11,479	11,479	
財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
一般財源			13,011	13,011	11,479	11,479	
コスト指標	指標名	単位	H21	H22	H23見込	H24計画	
	① 受益者1件当たり(円)(A/B)	(A)					
(B)							
算出根拠等							

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など	
	A(2)	B(1)			
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	評価対象外	施設の継続的運営のための土地借上料のため。	
	B(1)	一部結びつく			
	C(0)	結びつかない			
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	評価対象外	施設の継続的運営のための土地借上料のため。	
	B(1)	ある程度のニーズがある			
	C(0)	少ない、減少している			
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	評価対象外	施設の継続的運営のための土地借上料のため。	
	B(1)	概ね市民全体におよぶ			
	C(0)	わずかな受益者に限定される			
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	評価対象外	土地借上料で、施設運営の成果とは別なため。	
	B(1)	概ね達成している (75%以上)			
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)			
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	評価対象外	土地借上料で、施設運営の成果とは別なため。	
	B(1)	概ね有効である			
	C(0)	見直しが必要である			
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	評価対象外	土地借上料で、施設運営の成果とは別なため。	
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる			
	C(0)	対応していない			
⑦ コスト縮減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	B	市基準額での土地借上料に近づきよう継続して交渉を行っている。	
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる			
	C(0)	対応していない			
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	C	市基準額に対し上回っており調整が必要である。	
	B(1)	概ね適正である			
	C(0)	改善が必要である			
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	評価対象外	土地借上料で、事業を推進する直接な費用でないため。	
	B(2)	概ね適正である			
	C(0)	改善が必要である			
合計			1.0 / 4.0	100点換算	25 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	○	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	市の基準に近づきよう単価交渉の継続が必要					

総合評価(二次評価)	維持・改善	拡大	○	縮小	廃止の検討	完了
	・市の基準に近づきよう単価交渉を継続する必要がある。					

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	11,479	9,709	△ 1,770	9,661	9,661
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	11,479	9,709	△ 1,770	9,661	9,661

予算要求の概要	土地借上料
要求額増減理由	単価の見直しによる
①支所	
市の基準に近づきよう単価交渉の継続が必要	
②本庁所管課(畜産課、観光課、スポーツ振興課、医療課)	
施設の継続的運営のため、市基準額での土地借上料に近づきよう単価交渉を継続する必要がある。	
地域政策課	
地域振興特別予算措置期間に基準内の借地料となるよう交渉が必要である。	

財務部査定 の考え方	要求どおり
市長査定 の考え方	財務部調整どおり